

地域密着型通所介護 運営推進会議報告書

会議名称	第4回 NPOデイサービス あおぞら 運営推進会議
事業者名	NPO(特定非営利活動)法人 よりあい倶楽部
サービス種類	地域密着型通所介護
開催日時	2019(令和1)年 8月 27日(火) 16:30～17:30
開催場所	NPOデイサービス あおぞら 1階デイサービスフロアー (〒596-0001 大阪府岸和田市磯上町5丁目19番14号)
出席者	①地域の代表(大芝地区老人会)の方…当日不参加 ②地域包括支援センターの方…1名 ③民生委員…1名 (※市役所、利用者及び家族様、他社ケアマネージャー等に参加を打診していたが、調整がつかず不参加。) ④状況報告等のため当法人から…5名 (事業所管理者、法人理事長、事業部長、事務局長、ケアマネージャー)
議題	○事業所(法人)の“理念”の確認 ○参加者の簡単な紹介 (議題) ①現状報告(利用者数推移) 2019年3月～7月の月別の利用者数の推移 ②その他現状報告等 (事業所の特徴、次月(9月)からの取り組み予定等の説明、職員体制、短期的な方向性等の報告) ③主な活動内容 (2019年度)3月～8月までの活動内容 ④今後の予定 ⑤前回会議よりの課題と取組 [課題]地域の高齢者や住人(子供たち)が、気軽に訪ねることが出来る“開かれた施設”への取り組みの具体化 [取組]子供食堂「おおしば食堂」へ参加 キャラバンメイトへの活動参加 ⑥その他ご意見ご要望等 所属の地域への住民への声掛け(あいさつの重要性) 理念の向こう三軒両隣といった地域との関係づくりの重要性について
次回課題	①“開かれた施設”への具体化の取り組みは継続しつつ、法人として地域とのかかわりを模索していく。 ②地域行事への参加(子供ボランティア活動) ③利用者及び家族様にも運営側の取組等を理解していただき、地域とのかかわりにも参加してもらえようようにしたい。
次回開催予定	2019(令和2年)年2・3月の開催を予定

第4回 デイサービスあおぞら地域密着型運営推進会議

2019年8月27日
NPO法人よりあい倶楽部
デイサービスあおぞら
管理者 梶野 公祐

【議題】 地域の高齢者や住民(子供たち)が気軽に訪ねられる「開かれた施設」への取組について

事例1 大道町で高齢者2名の熱中症で逝去(孤独死)について

- ①70歳男性。隣人の方がここ数日生活音がなく、気になっていた。また、異臭がしているので様子を見に行くと逝去されていた。
- ②女性。新聞が3日間くらい溜まっていて不審に思った近隣の方から民生委員に連絡が入る。同時に、連絡が取れない岐阜の妹さんが様子を見に来て発見。

A: 立て続けに、大道町にて孤独死が2件発生。地域で介護事業を行っている中で、何か取組が出来ないか考えるきっかけとなる。私達のような介護事業所と地域が連携を取ることが出来れば最悪の事態が減らせるのではないかと考えるようになる。

B: 民生委員の方やボランティアの方との連携の重要性は明らかだと思う。しかし、このケースでは、当事者の方はお元気で、介護やデイへの関心がなくまだ大丈夫と言っていて、地域との関わりを自ら望んでいない面もあり、発見が遅れた。

C: そのほかの多くの方が町会などへの参加もなく、地域から疎遠になりがちになってきている風潮もあり、危惧される。

事例2 地域の高齢者の独居生活を続けられている方へのアプローチ

- ①以前までは、65歳以上の方には敬老の日に安否確認を兼ねてプレゼントをお配りしていたが、それもなくなり交流も薄れてきていて、独居の方の把握も難しくなっている。そのため、地域に独居の方がどれだけ住んでいるかの名簿の作成が出来なくなって、どのように把握し、アプローチをかけるかが課題となっている。
- ②町会や老人会などに在籍しない方や、家族と疎遠な高齢者もあるとのこと。今すぐに出来る対応は難しいため、まずは身近な取り組みから！近隣や送迎時に出会う方へ、“元気な”あいさつを行い、好印象を持ってもらうことを事業所からのアプローチとして開始してはどうか？
- ③近隣へのあいさつ励行の取組のうち、送迎等で利用日でないデイ利用者(特に独居者)の自宅の近所を通る際は、時間があれば声掛けする等の取り組みを実施してはどうかと考えている。

まとめ 事例1・2から、地域で介護事業を行っていく中で、デイサービスとしてどのように地域と繋がり、地域貢献することが出来るのか

課題1 町会や老人会などの地域社会への参加・所属をしていない高齢者の方たちへのアプローチ

課題2 本人は元気のつもりでも、独居生活の危険性について周知するには

課題3 デイサービスなどの介護事業へのマイナスイメージを変える必要性

まとめ こういった、課題に対して、民生委員の方との交流を通じながら、情報収集やボランティア活動で地域の方への広報活動を行い、住み慣れた地域でその人らしく過ごせる環境を支えていける取組を検討していきます。

事例2でも記述したサービスなどもそのひとつとして行っていくことを前向きに検討する。